

配慮を必要とする方に対しての理解と対応

~障害のある方等に対するサポートの視点と手法を身に付ける~

ねらい

周囲からのサポートを必要とされる方々の立場に立って支援する視点、基礎的な知識を獲得し、接し方のマナーや応対スキルを身に付けます。

特徴

要配慮者や要配慮者を支援する方からの講義や実際の接遇体験を通じて、コミュニケーションの取り方や支援の方法を習得することができ、研修後の実践力に直結します。

形式

本研修は下記の会場で、講師による講義や演習、要配慮者及び要配慮者を支援する方からのお話や実習を中心に実施します。座席は教室型に配置し行います。

■日程【1日間】

9月11日(月)

■予定人数

※会場は、「新潟ふれ愛プラザ」(新潟市江南区亀田向陽1-9-1)を

予定しています。

17名

■対象 障害者に対する接し方について基本的な知識・理解を学びたい方

■講師 **調整中**

9:00 12:00 13:00 17:00 はじめに 1. 接遇の基本 3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法 4. まとめ 3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法 4. まとめ

カリキュラム(予定)		
時間		内容
1	9:00	<u>はじめに</u>
		1. 接遇の基本
		2. 障害者差別解消法を理解する
日日	12:00	3. 配慮を必要とする方についての理解と支援方法 (1)肢体不自由者の理解と接遇
	13:00 17:00	(2)視覚障害者の理解と接遇 (3)聴覚障害者の理解と接遇 (4)精神障害者の理解と接遇
		<u>4. まとめ</u>

※研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。

受講者の声(令和4年度)

- ▶実際に障害のある方からの話が印象的だった。盲導犬も間近で見ることがなかったので良い機会になった。
- ▶○○障がいという名称の病気の方について、自分は今まで偏見を持たないように努力をしていたが、気づかない内にステレオタイプ的な思考を持ってしまっていると気付かされた。
- ▶障害の特性ごとにお話が聞けて良かった。車いす体験は貴重な体験だった。
- ▶支援者側、当事者側の双方からのお話を聞くことができ、自分の中での意識に変化が生まれた。
- ▶実技などがあり、体験しながら他の方と意見交換することができ、大変有意義だった。
- ▶これまでの自分が、障害をどのように捉えていたのか振り返るきっかけになった。